

ガイドツアー&花壇づくりWS ニュースレター

Vol.03

令和2年10月28日号



日 時：令和2年10月28日（水）

9：30～11：50

場 所：馬見丘陵公園

ボランティアハウス他

参加者：19人

9：30～9：50 公園事務所からの説明

9：50～10：10 今回のWSの説明・
班分け

10：10～10：20 移動

10：20～11：10 ガイドツアーWS

11：10～11：20 移動

11：20～11：50 講評・アンケート



ワークショップ当日を振り返る

10月28日のWSでは、中和公園事務所からフラワーフェスタでの県民協働花壇の応援メッセージ集計のお話がありました。年々メッセージの数は増えており、花サポーターの認知度も高まってきていることが、この結果からも伺えました。

公園事務所の説明ののち、ガイドツアーWS参加者はボランティアハウスへ移動。そこで行程・参加者の役割等の説明を受け、2班に分かれ、ガイドツアーを実演・学習いたしました。

ガイドツアー終了後は、ボランティアハウスに戻り、アンケートに記入頂きながら、先生から講評を頂きました。当日は天候にも恵まれ、充実した一日をお過ごし頂けたように思います。

今後は、ご記入頂いたアンケートをもとに、ガイドツアーのための簡単なマニュアル・地図の作成を行う予定です。



ガイドツアーワークショップ（実践）

- ① 実演+アドリブ
- ② 事前にお渡しした資料

- ① 花の知識を得る
- ② 説明を客観的に学ぶ
- ③ 話し方等をチェック&学ぶ



今回のワークショップでは、参加者の方は2つの役割（ボランティアガイド役とガイドツアーに参加して下さるお客さん役）に分かれました。ボランティアガイド役の2名には予習用に、ガイドルートと豆知識をまとめたものを事前にお渡し致しました。そして、お客さんの目線や行動を見ながら適したガイドを行う練習をして頂きました。お客さん役の方々には、①花の知識を得る②自分がボランティアガイドをするならば、どうやって説明をしたらよいのかを客観的に見て学ぶ③ボランティアガイドさんの話し方等をチェックして学ぶ、ということを目的にしました。

ボランティアガイド役の方へお渡ししたマニュアルは、ワークショップの当日に、参加者全員に配布しました。（馬見丘陵公園の歴史、ガイドルート上の花の豆知識、フォトスポット等をまとめてあります。）お客さん役の方の中には、この資料を見ながら参加をしている方もいらっしゃいました。



当日は、A班とB班に分かれ、講師も付き添いながら、実際のガイドルートを巡りました。A班はガイドさんが引っ張っていき、先生は後ろから見守りながら、B班はガイドさんの様子を踏まえ、先生がアドバイスをしながら、実践をしました。それぞれの班の色が出ていたワークショップでした。



ガイドルートの設定・豆知識共有

公園館前スタート→ミツバツツジの道→古墳の丘→菖蒲園→花の道→バラ園→ジャカラータ周辺→ススキの丘→エノキの木周辺→ボランティア花壇→集いの丘→馬見花苑→解散

上のようなモデルルートを設定しました。(が、当日は、ガイド役のお二人にアドリブを加えて頂きました。)

当日ガイドさんが披露されていた豆知識(一部)を以下にご紹介致します!

馬見丘陵公園について：高度経済成長期以前は古墳のある丘だったが、周辺の宅地開発が活性化した折、この景観と古墳群の保全のため、「歴史と自然に囲まれた憩いの空間」をめざし公園事業に着手、完成した。とても広く、U.S.Jとほぼ同じ広さ、甲子園球場 約 15 個分。奈良県で二番目に広い。一番は奈良公園。

芝生の丘のコスモス：この場所に咲いているコスモスは、「ソナタ」という名前の品種で、通常のコスモスより背が低いのが特徴。足元に彩りを与えてくれる。

エゴノキ：毒のある実がなる。その実を食用にするヤマガラが飛んでくるので、野鳥愛好家のフォトスポットとなっている。

クリスマスローズ：クリスマスローズという名前ですが、バラ科でもなければ、クリスマスにも花を咲かせることもない。うつむきがち(下向き)に咲くが、かわいらしいお顔の花を咲かせる。市場に出回るのは12月ごろから。寒さに強く、開花時期は一般的に1~3月(4・5月まで咲くものも)と言われている。

ジャカラダ：世界三大花木の一つ。ハワイなどでは日本からの移民たちが、桜の代わりにハワイ桜として愛でていた。桜のように開花時期が短いことからそう言われたとのこと。日本では、宮崎県の日南市にジャカラダの森があり、1000本の群生が見られる。大阪の一心寺にも植えられている。ちなみに、世界三大花木を決めた人は不明。(世界三大美人を決めた人が分からないようなものと思われる。)

イペの木：ブラジルの国花。馬見丘陵公園のイペは、ブラジルからの造園研修生が来た時に記念樹として植えられた。春には黄色くかわいい花が咲く。イペの葉には毛がある。葉っぱに毛がある植物は、基本的に水を嫌うものが多い。

ダリア園：フォトスポットとしても有名。奈良県はダリアの球根生産量が日本一。ダリア園の見ごろは例年、10月上旬から11月上旬にかけてで、開花シーズン中の10月上旬~中旬には、「馬見フラワーフェスタ」を開催している。



右側写真：(上から順番に) コスモス ソナタ/エゴノキの実とヤマガラ/クリスマスローズ/ジャカラダ/イペの花/ダリア園のダリア



わかりやすいガイドにするコツ

実は私たちガイドのプロ(自称)も、他のガイドさんたちから勉強しています。今回は、大阪府のSK花館での学びから、わかりやすいガイドにするコツを3つお伝え致します。SK花館のガイドさん(以下Gさん)は、以下のポイントを随所に入れていらっしゃいました。

- ① **ガイド時間を伝え、少し早めだがはっきりした口調・短文で話す。**
- ② **敷居を低くする。**
- ③ **お客様への気配りを行う。**

<①について>

まず、ガイドツアー開始時にGさんは、「このガイドは全部で〇分位の予定です」と仰られました。これをお伝えしているのは、お客様は必ずしも、時間が有り余って、ガイドツアーに参加してくださっているわけではないからです。そして、時間制限のあるお客様と時間制限のないお客様の両方に対応するため、少し早めのスピードだが、はっきりした聞き取りやすい口調で、話を進められました。話す分量にも工夫があり、一文を短く、的確に伝えるようにされていました。例：「こちらは皆様ご存じのBNです。このBNはよくBNの木という風に表現されますが、実は木ではありません。草です。」など。(BNは何の略でしょうか?皆様ぜひ推測を!皆様がよくご存じのアレ、です。)

<②について>

ガイドする草花の説明の仕方にもGさんの優れた技が現れていました。それが、「敷居を低くする=お客様の食いつきをよくする」ことです。だれもが知っている花木を選び、その豆知識をお教える。または、だれもが知っている花木や事柄とつなげて話を展開する、ということを実践されています。

Gさんの話の一例：「みなさまはダイヤモンドリリーという花をご存じでしょうか?こちらです。東京オリンピック2020のピクトリーブーケに選ばれた花です。

ですが、この花、リリー(ゆり)とは言いますが、実はユリ科ではありません。彼岸花の仲間とされています。そして、太陽の光に当たると、花がキラキラします。そこでダイヤモンドという名前がついたようです。実際に光っているところをご覧ください。」

東京オリンピック、ゆりの花、彼岸花、ダイヤモンド、太陽、みなさんご存じですね。このように、大半の人が知る情報と関連付けながら話を組み立てていくと、ガイドに参加されているお客様の記憶にも残りやすく、「へー、そうなんだ!」と感心いただけます。

<③について>

SK花館のガイドツアーに参加させて頂いた際、車いすのお客様が一緒おられました。Gさんは歩くスピードを遅くしませんでした。理由は、車いすを押していたらしゃったのが男性で、健康そのもの!という感じの方であったのを瞬時に把握されたからです。

Gさんは健康者にもそうでない方にも気を配られていました。あるお客様が、車いすのお客様を気遣って後ろの方からお話を聞かれているのを察知し、「写真(Gさんの自前の写真)お見えになりますか?」とお声がけをされ、車いすのお客様方が見物を終えた後には、後ろの方にも「こちらに来てご覧ください」と気配りをされていた。

マイナス要素を伝えない点も、Gさんの優れたところでした。例えば、「枯れた」と聞くと、悲しくなってしまう方がおられるかもしれません。大事なペットを亡くした後に来られたお客様もいらっしゃるかもしれません。マイナスのイメージを呼び起こしそうな言葉を極力避けることで、楽しい雰囲気を作らないように配慮をされていました。

人のために尽くすことは自分のために尽くすことと同じ!お客様に喜んで頂くにはどうしたらよいか?と考えることが、自己成長にもつながります。